

〈競技上の注意事項〉

- 1 競技規則については、(公財)日本ソフトテニス連盟発行ソフトテニスハンドブックに準拠し、競技は7ゲームマッチで行う。
- 2 打球が体育館天井や付随設備に当たった場合は、打球した側の失点とする。
- 3 **【服装・用具について】**
 - (1) 選手は、背中にB5サイズのゼッケンの4隅を留めて出場すること。
 - (2) ハンドブック記載「ユニフォーム等着用基準」に基づき、公認メーカーのものをを使用すること。
- 4 **【審判について】**
 - (1) 選手の敗者審判を原則とする。試合に出場した選手が行い、審判ワッペンをつけること。
 - (2) 正審は、ストップウォッチを用い、試合前の乱打・チェンジサイズ時の時間を管理し、スムーズに試合を進行させること。
 - (3) 審判中に、対処が困難な事態が生じた場合は、審判委員の指示を仰ぐこと。
- 5 **【ベンチについて】**
 - (1) ベンチは、審判台を背に組合せ番号の小さいチーム・ペアを左側とする。
 - (2) 団体戦において選手・監督は、原則としてベンチに腰かけて応援すること。
- 6 **【練習場所について】**
 - (1) 会場における練習については、指示された場所・方法を守ること。
- 7 **【個人戦について】**
 - (1) 出場する選手が、病気やけが、その他理由により出場が困難であると校長が認めた場合は、ペアのうちの1人の選手変更を認める。その場合は、所定の様式に記入して受付時間内に大会本部へ提出すること。
 - (2) 個人戦では次の試合のペアは、前の試合終了以前にベンチ入りしなければならない。審判が位置についてから、試合が開始出来ない場合には5分毎に警告を1つ与える。
 - (3) 選手は他のコートへ移動して、アドバイスを受けることはできない。(ベンチ入り指導者のコート移動は認める。)
- 8 **【団体戦について】**
 - (1) チームは参加申込書に記載された選手4～8名と、監督1名により構成される。選手、監督は団体戦初日の受付時間内に変更することができる。それ以降の変更はできない。
 - (2) 選手が6名に満たないチームは、団体戦前日までに専門委員長へ連絡すること。(2ペアでの団体戦では2番目のマッチで試合が終了するため、対戦チームへの連絡が必要)
 - (3) トーナメント初戦と決勝リーグの全試合は、勝敗が決まっても3番目のマッチを行うことを原則とする。
 - (4) 試合進行状況によって2面展開、3面展開で試合を実施する場合がある。
 - (5) 1回戦のオーダー提出は、各コートの第1試合については9時15分までに、それ以外の1回戦は9時40分までに完了すること。2回戦のオーダー提出は、対戦相手が決まり次第、5分以内に提出すること。2日目については別途指示する。
 - (6) オーダー用紙はフルネームで記入すること。登録外の選手を記入し出場した場合、当該チームの失格とする。提出の際は誤記入がないか十分に注意を払うこと。
 - (7) オーダー記載以外の選手が出場した場合、その当該チームは失格となる。
- 9 **【その他留意事項】**
 - (1) 部旗や横断幕の設置場所については、会場毎に指示する。
 - (2) 日本ソフトテニス連盟が提唱しているグッドマナーを推進し、試合態度の向上や施設設備の丁寧な使い方などに留意しましょう。